

発刊のご挨拶

宇和島市では、平成30年7月5日から8日にかけて降り続いた記録的な豪雨により、災害関連死を含め13名もの尊い命が奪われたほか、多くの方々が住居を、吉田・三間地区においては水を、更には柑橘類を含めた生業の礎を失い、希望の全てまでもが、そぎ取られるような経験をしました。

あらためて、犠牲となられた方々のご遺族の皆様方に対しまして、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、災害発生直後から、地元の消防職員、消防団員はもとより、自衛隊、海上保安庁、警察、消防をはじめとする関係機関の皆様や県内外からの多くのボランティアの皆様、国や愛媛県、姉妹都市をはじめとする自治体からの応援職員の皆様、そして、寄附金や物資などの提供・支援をいただきましたすべての皆様に対し、改めて心から厚く御礼を申し上げます。

さて、宇和島市では、豪雨災害からの一日も早い復旧と、将来を見据えた創造的な復興に向け、平成31年3月に「宇和島市復興計画」を策定し、「すまいとくらしの再建」「安全な地域づくり」「産業・経済の復興」を基本施策としました。

この復興計画に基づき、引き続き、国や県、関係機関をはじめ、外部人材の支援もいただきながら、ハード・ソフト両面から計画的に施策を推進し、創造的復興の実現に取り組んでおります。

こうした中、この豪雨災害の記憶を風化させることなく未来へ継承し、市民一丸となって、二度と犠牲者を出さない、命を守る安全な地域づくりに全力で取り組んでいくため、被害の状況やその際の災害対応など、当時の状況を整理し、「平成30年7月豪雨 宇和島市災害記録誌」として取りまとめました。

近年、全国各地で大規模な災害が頻発しており、多くの人命や財産が失われています。本誌が市民の皆様への参考として、将来にわたる防災・減災対策の一助となりますことを強く願いまして、発刊のご挨拶とさせていただきます。

最後になりましたが、本誌作成にあたり、取材対応や原稿作成、画像提供等をいただきました全ての関係各位に対し、心から感謝申し上げます。



令和3年6月30日

宇和島市長 岡原 文彰